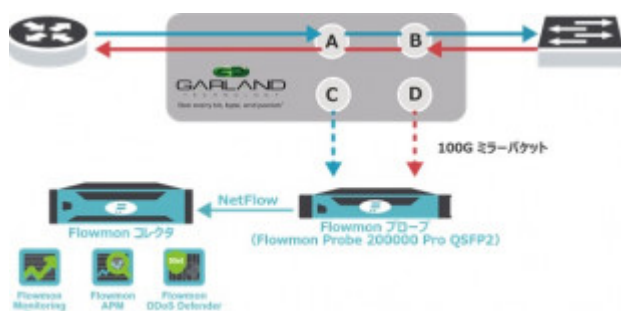


100G環境下でのネットワーク監視とセキュリティ課題に対応する
Flowmon社とGarland社製品パケットブローカーの連携ソリューションを国内販売開始



100GbEの高速回線で、ネットワークトラフィックを100%完全にコピーしフローデータを生成してネットワークを可視化・解析

オリゾンシステムズ株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長 菅 健一、以下オリゾンシステムズ）は、国内総代理店を務めるチェコのFlowmon Networks a. s.（以下Flowmon社）製のフローベースのネットワークトラフィック監視・分析アプライアンス「Flowmon（フローモン）プローブ」と、株式会社東陽テクニカ（本社：東京都中央区、代表取締役社長 五味 勝）が国内総代理店を務める米国Garland Technology社（ガーランドテクノロジー、本社：ニューヨーク州、以下Garland社）製の「ネットワークパケットブローカー」を組み合わせた100GbE環境下でのネットワーク監視とセキュリティ課題に対応する連携ソリューションの国内販売を2019年9月9日より開始いたします。

◆ 背景

両製品の連携ソリューションは、Flowmon社とGarland社の技術協力によりグローバルに展開されております。Garland社の「ネットワークパケットブローカー」がネットワークトラフィックから取り込んだパケットを100%完全にコピーして取りこぼしなくワイヤースピード対応の「Flowmonプローブ」に送り、「Flowmonプローブ」がフローデータに変換します。今回「ネットワークパケットブローカー」および「Flowmonプローブ」の100GbE対応モデルを組み合わせることで、キャリア、ISP、データセンター事業者などの高速回線環境にも対応可能なソリューションを実現しました。本ソリューションはFlowmon社の販売パートナーであり、Garland社の国内総代理店でもある東陽テクニカが販売を担当します。コストを抑えた導入し易いパッケージも用意しています。

◆ ソリューション概要

ネットワークの安定稼働を確保するためには、ネットワーク監視によりトラフィックの増大、サイバー攻撃など、トラブルの原因を迅速かつ的確に把握しなければなりません。Flowmon社が提供するネットワークトラフィックの可視化、監視、分析ソリューション「Flowmon」では、従来のパケット解析と同等の視点での解析を、データサイズが軽量で詳細なNetFlow/IPFIXなどのフロー情報を利用して行うことができます。このフローベースでのソリューションをネットワークエンジニアに提供することで、ネットワークセキュリティ、トラブルシューティング、ユーザーやデバ

イスの可視化・監視が可能となり、また、ネットワークのキャパシティプランニング、事業者間のピアリング状況の分析およびSLA コンプライアンスの維持にも役立ちます。

中でもNetFlow生成専用機の「Flowmon

プローブ」を使用することにより、アプリケーションレイヤー（L7）やネットワークパフォーマンスの情報を含むフローデータを生成することができ、クラウド製品の増加が見込まれるお客様のネットワーク環境を用途別に最適化する際にもお役立ていただけます。

一方、Garland社の「ネットワークパケットブローカー」は、パケットを取りこぼすことなくすべてのトラフィックを確実にキャプチャ可能とする専用ハードウェアデバイスで、フィルタリング、アグリゲーション、ロードバランシング、リジェネレーション機能を兼ね備えています。「Flowmonプローブ」は、Garland社の「ネットワークパケットブローカー」と連携することにより、より信頼性の高いネットワーク監視の提供が可能となります。

さらに、ネットワークトラフィックが増加の一途をたどる昨今、キャリア網ではすでに100G伝送が主流となることを視野に入れており、また、大規模なデータセンターでもラック間接続やデータセンター間相互接続で100G化が進行していることから、より高性能で信頼性の高いネットワーク監視ソリューションが求められています。「Flowmonプローブ」と「ネットワークパケットブローカー」との連携ソリューションはこれらの実現に威力を発揮します。

◆ 販売情報

◇製品構成

Flowmonプローブ：「Flowmon Probe 200000 Pro QSFP28」

ネットワークパケットブローカー：「PacketMAX 100G Advanced Aggregator」

※100GbE対応製品以外のモデルは以下をご参照ください。

「Flowmonプローブ」サイト：

<https://www.orizon.co.jp/products/flowmon/probe.html>

Garland社製品サイト：

https://www.toyo.co.jp/ict/maker/product_list/id=10416

◇ 販売価格：1,490万円（税別）※ 期間限定価格（保守込み）

◇ 販売期間：2019年9月9日（月）～2020年3月31日（火） 発注分まで

◇ 販売元：株式会社東陽テクニカ

◆株式会社東陽テクニカ様よりのエンドースメント

取締役 小野寺 充 氏

動画系アプリケーションの普及や仮想化技術利用による各サーバの利用効率向上のために、キャリアやISP、データセンター事業者でも100GbE回線の導入が進んでいます。ミッションクリティカルなアプリケーションのQoSを高めるには、100GbE回線を通るトラフィックからパッシブにフロー情報を得て解析することが重要な手法のひとつです。オリゾンシステムズ株式会社様が取り扱っているFlowmon製品を当社もソリューションのひとつとして販売してきました。このたび当社が取り扱っているGarland

Technology社のネットワークパケットブローカーと組み合わせることで、最適な100GbE環境の可視化ソリューションができたことを歓迎するとともに、お客様のネットワーク運用監視での課題解決となることを願っております。

◆ 株式会社東陽テクニカについて

<https://www.toyo.co.jp/>

東陽テクニカは1953年の創立以来、世界最高水準の“はかる”技術の提供をコアコンピタンスとし、最先端の測定機器の輸入販売と自社開発製品の提供によって、官公庁、大学ならびに企業の研究開発を支援してきました。技術分野は、情報通信、自動車計測技術、環境エネルギー、EMC（電磁両立性）試験、海洋調査、ソフトウェア開発支援、ライフサイエンスなど幅広く、米国や中国の現地法人などを通じて世界にも提供しています。2016～2017年にかけて新しい3組織「セキュリティ&ラボカンパニー」「技術研究所」「ワン・テクノロジーズ・カンパニー」を設立。サイバーセキュリティサービスの提供、自動運転車の開発支援、AI（人工知能）を使ったデータ解析など、新しいソリューションの創造に取り組んでいます。

◆ Garland Technologyについて

<https://www.garlandtechnology.com/>

Garland

Technologyは、世界中の企業、サービスプロバイダ、政府機関にネットワーク製品とソリューションを提供する業界におけるリーダーです。

2011年以来、Garland社は業界で最も信頼性の高いテストアクセスポイントとネットワークパケットブローカーを開発し、データセンターの運用者がITの課題に取り組むことを助け、さらにネットワークの完全な可視性の獲得を可能にしました。

◆ Flowmon Networks a.s.について

<https://www.flowmon.com/>

革新的なフローベースのネットワーク監視とセキュリティのソリューションを提供するFlowmon Networks a.s.は、チェコ共和国ブルノに本社を置くベンダーで、[2007年6月](#)

に設立されました。大学のスピンアウトとしてスタートし、CESNET（チェコ共和国の学術ネットワークの運用機関）内で検証された次世代ネットワークのモニタリングとセキュリティのノウハウを商用ビジネスとして展開おり、この分野で最も早く成長している企業です。

■ オリゾンシステムズ株式会社について

<https://www.orizon.co.jp/>

オリゾンシステムズ株式会社は、1998年の設立以来、ネットワークインテグレーションビジネスに特化し、(1) 大規模インテグレータの優良パートナーであること、(2) マネージドサービスとオープンソースサービスも含めた優良アウトソーシング企業であることをミッションとして掲げ、ソフトウェア開発、ITインフラ構築/インテグレーション、24時間365日保守サービスを含む広範囲のITサービスを提供しています。従業員数は205名（[2019年7月](#)現在）で、その内190名が技術者です。